各種相談日程表

	無料法律相談（事前申込要）	多重債務相談（事前申込要）	ふれあい相談	困りごと出張相談会	
時　間	10:00～15:00		8:30～17:15	10:00～12:00	13:30～15:30
場　所	二戸消費生活センター（二戸合同庁舎内）		一戸町社会福祉協議会（一戸町総合保健福祉センター内）	いちボラ＋（旧一戸幼稚園内）	奥中山地区センター
問合せ先	0195-23-5800		0195-33-3385	0195-43-3525（OneDishあすいろ）	
8月	8/12(火) 8/26(火)	8/19(火)	月～金（土日祝日は休み）	—	—
9月	9/10(水) 9/24(水)	9/16(火)		9/12(金)	9/12(金)
10月	10/8(水) 10/22(水)	10/21(火)		—	—

災害義援金募集

一戸町社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次のとおり受付しております。いただいた義援金は、岩手県共同募金会や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆さまのご協力をお願いいたします。

令和6年能登半島地震災害義援金（石川県・富山県・新潟県）
令和7年12月26日まで

令和6年9月能登半島大雨災害義援金（石川県）
令和7年12月26日まで

その他、各種国外義援金、救援金についても受付しております。一戸町社会福祉協議会（TEL 0195-33-3385）までお問い合わせください。

表紙の紹介

小鳥谷ふじの花こども園で7月7日に行われた「七夕祖父母交流会」の様子。

二戸警察署の若手署員で構成される「近未来警察カシオペア」が園を訪れ、交流会を盛り上げつつ、子どもたちの安全な暮らしを守るため防犯を呼びかけました。

編集後記

令和7年度は「いちのへ社協だよりゆいっこ」をリニューアルいたしました。今年度も年4回の発行を予定しておりますので、ご高覧いただき、地域の皆さんのご意見ご感想をお寄せいただけますと幸いです。（P7をご参照ください。）

年度のスタートを切ったかと思えば、暦はもう残り半分。1年の折り返しです。悔いることのないよう、一日一日を大切に仕事も私生活も充実させたいと感じる今日この頃です。（小野寺）

社会福祉法人 一戸町社会福祉協議会
〒028-5312　一戸町一戸字砂森93-2
（一戸町総合保健福祉センター内）
TEL 0195-33-3385
FAX 0195-33-2737
ホームページ
https://ichinohe-shakyo.jp/

いちのへ社協だより
ゆいっこ
2025 07.25 発行
Vol.120

02 令和7年度 事業計画・予算概要
04 できごとフラッシュ
06 令和6年度収支決算報告 いちボラレポート2025
07 社協からのお知らせ
08 Topics

題号"ゆいっこ"は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。

令和7年度

一戸町社会福祉協議会 事業計画

令和7年4月1日
令和8年3月31日

「誰もが互いに尊重し合い、安心して健康に暮らすことのできるまちづくり」を目指して

一戸町社会福祉協議会では、お一人お一人が安心して自分らしく暮らし続けられる福祉のまちづくりを目指し、令和7年度の重点事業を次のように定め地域の皆さんと共に活動していきます。

1 法人運営の基盤強化

▼持続可能な事業運営のため、経営状況の透明化・自主財源の確保・財務規律の保持に努めます。

▼心身ともに健康な職場づくりに向け、研修や産業医との協働を通じて職員の健康意識の向上を進めます。

2 助け合い支え合う地域づくりの推進

▼ボランティア活動拠点いちボラ＋（プラス）の運営を強化し、世代を問わず、また多機関多職種が連携し合い、身近な地域でつながり合い共に支え合うまちづくりを目指します。

買い物に課題がある高齢者等を支援するお買い物サポート。

住民の地域福祉活動をサポートする研修会。

いちボラ+で行った多世代交流フェスティバル2024。

3 住民一人ひとりに寄り添う包括的支援体制の構築

▼必要な機関と連携し、地域住民の支援ニーズに対応していきます。

▼子ども・障がい・高齢・生活困窮等分野ごとの支援ではなく、一体的・包括的な支援体制の構築に努めます。

4 持続可能な在宅福祉サービスの提供

▼急速な高齢化や人口減少等の地域社会の変化、感染症や災害発生時でも柔軟なサービス提供が可能となるよう、サービスの質と職員の専門性を高めていきます。

5 多様なニーズに対応した子育て支援の充実

▼行政や教育機関とのつながりを強化し、子どもだけでなくその親や家庭への支援、また子どもの発達支援に力を入れます。

▼ITやICTを活用した業務の効率化により保育環境を整え、安心安全な保育サービスを提供します。

一戸町より受託運営している一戸南学童クラブの夏祭り。

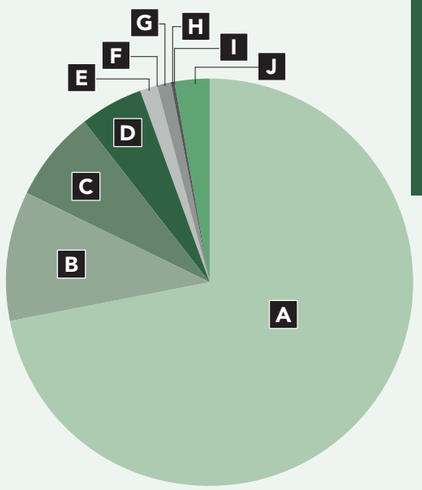
高齢者等の見守りを兼ねた宅配食事サービス。

生活や就労等に関する困りごと相談会への協力。

予算概要

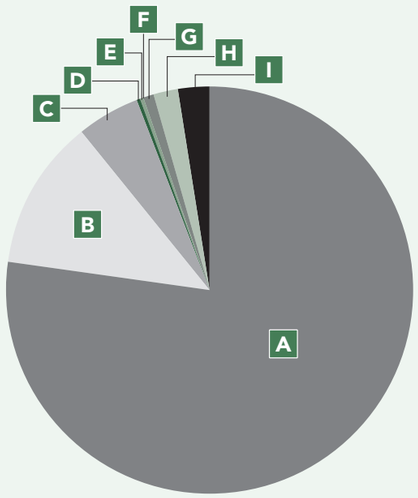
入ってくるお金
338,456,000円

- **A** 一戸町から入るこども園と学童クラブの運営費 **244,200,000円**
- **B** 各種福祉サービスを提供したことに対して一戸町から入る補助金 **34,604,000円**
- **C** 地域福祉事業等を行うために一戸町から入る受託金 **24,159,000円**
- **D** 介護保険サービスを提供して得るお金 **17,067,000円**
- **E** 介護保険以外の福祉サービス等を提供して得るお金 **4,572,000円**
- **F** 貸付事業を行うために県社協等から入ってくるお金 **301,000円**
- **G** 社会福祉協議会会費として地域の皆さんからいただくお金 **3,435,000円**
- **H** 地域の皆さんからいただく寄付金 **700,000円**
- **I** その他の収入 **913,000円**
- **J** 前期末支払資金残高 **8,505,000円**



使うお金
338,456,000円

- **A** 職員の人件費 **262,248,000円**
- **B** 事業を行うために使うお金 **40,451,000円**
- **C** 運営のための事務費 **16,171,000円**
- **D** 生活に困っている方等へ貸すお金 **300,000円**
- **E** 地域の皆さんが行う地域福祉活動をサポートするための助成金 **1,142,000円**
- **F** 固定資産を取得するために発生するお金 **484,000円**
- **G** リース契約をしている車等を維持するためのお金 **2,768,000円**
- **H** その他の活動による支出 **6,899,000円**
- **I** 予備費 **7,993,000円**



一戸町社会福祉協議会 理事・評議員改選

一戸町社会福祉協議会の理事及び評議員は、6月25日に行われた令和7年度定時評議員会をもって任期が満了となり、今期より新たな役員が選任されました。新たに選任された理事と評議員をご紹介いたします。よろしくお願いいたします。

（順不同）

理事

会長 大道 正樹
副会長 堀口 泰男
副会長 女ケ澤富士雄
理事 野崎 貞春
理事 駒木 彬了
理事 早坂 伸子
理事 三浦 和枝
理事 梅垣 俊輔
理事 鈴木 優子（新任）
理事 斎藤 吉夫（新任）
監事 中瀬 正一
監事 吉田 幸男

評議員

北舘 房雄
柏葉 輝男
上村ヨシエ
清川セイ子
山田 良子
向井 政志
武田 靖子
南舘 俊則（新任）
工藤 ユキ（新任）
三崎 一貴（新任）
澤村 智晴（新任）
伊藤 一郎（新任）
中島 敬（新任）

鎌田さん、本田さんが 100歳のお誕生日を迎えられました

岩舘地区にお住いの鎌田敏さんが100歳のお誕生日を迎えられ、一戸町長をはじめ本会会長が、4月25日、ご自宅を訪問し健康長寿を祝いました。

また、7月1日には奥中山地区の本田清禮さんが100歳のお誕生日を迎えられました。本田さんは、ご家族とともにご自宅で一戸町や本会からの祝福を受けられました。

令和7年度は、町内で鎌田さんと本田さんを含む13名の方が100歳のお誕生日を迎えられる予定で、町内の最高齢者は104歳ということです。

これからも末永くお元気でお過ごしください。

1 100歳のお誕生日を迎えられた鎌田敏さん（写真中央）。
2 100歳のお誕生日を迎えられた本田清禮さん（写真左から2番目）。

令和7年度オレンジカフェさくらの会が スタートしました

認知症カフェで知られる「オレンジカフェさくらの会」（柏葉英美代表）は、令和7年度の活動を開始しています。

この活動は、認知症のある方もそうでない方も気軽に立ち寄り、お茶やコーヒーを飲みながら心も体も元気に暮らすことのサポートを目的としています。毎月第2土曜日の定期開催の他、5月24日には小鳥谷駅、6月22日には鳥コkids station（株式会社柴田産業様方・鳥越上野平）で巡回型カフェを開催し認知症カフェの普及啓発に努めていました。

活動は令和8年3月まで定期的に行われます。詳しくは本誌P7「社協からのお知らせ」をご覧ください。

1 町コミュニティセンターで開催したカフェ（毎月第2土）でミニ講話を行うアイン薬局薬剤師。
2 6月22日に鳥越で開催したカフェでの創作活動の様子。

子どもたちに防犯意識を高める5つの行動指針「いかのおすし」を呼びかける「近未来警察カシオペア」

小鳥谷ふじの花こども園

子ども安全を願う 近未来警察カシオペア防犯教室

7月7日、本会が運営する小鳥谷ふじの花こども園は、二戸警察署の若手署員が扮する「近未来警察カシオペア」とともに、子どもの安心安全な暮らしを守るため防犯教室を行いました。子どもたちはかっこいい寸劇に大喜びで、命を守ることについて楽しく学ぶことができました。

またこの日は園児の祖父母を招いて七夕祖父母交流会も行われ、園と地域、行政機関が連携した取り組みとなりました。

オリジナル大型かるたを楽しむ児童。

一戸南学童クラブ

町総合運動公園へ 遠足に出かけてきました

本会が運営する一戸南学童クラブは、5月26日、一戸町総合運動公園へ遠足に出かけました。当日は、同施設を利用する1～6年生までの児童25名が参加しました。

運動公園では、（特非）スポーツウェルネス指導のもとオリジナル大型かるたで身体を動かしました。かるたには子どもに人気のキャラクターが描かれており、見つける度に嬉しそうな声が聞こえていました。外で友達同士食べるお弁当も格別でした。

子どもの衣類を選びながらおしゃべりを楽しむ親子。

子育てサークルいちはぴが お下がり交換会を行いました

町内の子育て中のお父さんやお母さん、ご家族等を対象に、子育てしやすい地域づくりを進める子育てサークルいちはぴ（宇部智恵代表）は、6月22日、ボランティア活動拠点いちボラ＋（旧一戸幼稚園内）でお下がり交換会を開催しました。

成長とともに着られなくなった子ども服を持ち寄り、集まった衣類の中から欲しいサイズの衣類を持ち帰る仕組みです。どなたでも無料で参加でき、子育て中の親同士で情報交換もできることもあって、当日は多くの子ども連れの参加者で賑わっていました。

一戸病院職員によるレクリエーションを交えた講演。

町老連講演会

「認知症と共に生きる地域づくりへ」を開催しました

一戸町老人クラブ連合会（南舘俊則会長）は、4月24日、会員の活動促進と心身ともに健康な身体づくりを目的として講演会を開催しました。

一戸病院認知症疾患医療センターセンター長小井田潤一医師をはじめ、同病院の心理士や作業療法士を講師に招き、認知症の症状や治療に関する講話の他、脳を活性化させるレクリエーションも行われ、楽しみながら認知症への理解を深める機会となりました。

令和6年度

一戸町社会福祉協議会 収支決算報告

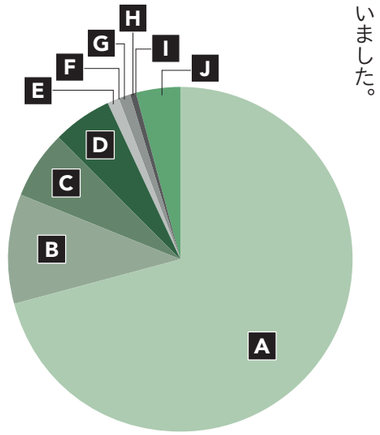
令和6年4月1日 ◀ 令和7年3月31日

一戸町社会福祉協議会の令和6年度決算について、6月25日に開催された定時評議員会において承認されましたのでご報告いたします。

一戸町等からの補助金や委託料、地域の皆さんからいただいた会費等は、次のとおり職員人件費や各種事業運営のための資金として活用させていただきました。ありがとうございました。

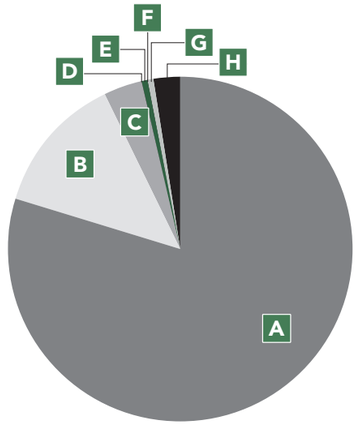
入ってきたお金 288,665,828円

- **A** 一戸町から入るこども園と学童クラブの運営費 205,119,952円
- **B** 各種福祉サービスを提供したことに対して一戸町から入る補助金 29,399,152円
- **C** 地域福祉事業等を行うために一戸町から入る受託金 18,530,389円
- **D** 介護保険サービスを提供して得たお金 15,976,663円
- **E** 介護保険以外の福祉サービス等を提供して得たお金 3,201,908円
- **F** 貸付事業を行うために県社協等から入ってきたお金 117,707円
- **G** 社会福祉協議会会費として地域の皆さんからいただいたお金 3,436,200円
- **H** 地域の皆さんからいただいた寄付金 1,047,205円
- **I** その他の収入 615,964円
- **J** 前期末支払資金残高 11,220,688円



使ったお金 280,163,295円

- **A** 職員の人件費 223,814,737円
- **B** 事業を行うために使ったお金 36,609,569円
- **C** 運営のための事務費 10,052,071円
- **D** 生活に困っている方等へ貸したお金 60,000円
- **E** 地域の皆さんが行う地域福祉活動をサポートするための助成金 1,135,600円
- **F** 固定資産を取得するために発生したお金 218,900円
- **G** リース契約をしている車等を維持するためのお金 2,043,000円
- **H** その他の活動による支出 6,229,418円



いちボラレポート 2025 4月

ボランティア活動拠点いちボラ＋（プラス）では、4月14日、普段施設を利用しているボランティア団体による施設の清掃活動が行われました。日々の清掃では手の行き届かない下駄箱や窓等を、5名のボランティアの皆さんにより丁寧に掃除していただきました。いちボラ+を利用する地域の皆さん1人1人の優しさが、いちボラ+をより一層素敵にしてくれているのだと感じています。

今後も地域の皆さんの意欲的、自主的な活動をサポートする場所でありたいと思っていますので、令和7年度も「いちボラ＋」をよろしくお願いします。

アクセス 岩手県二戸郡一戸町西法寺字稲荷21-18（旧一戸幼稚園内）

Open 月・水・金曜日 10:00 ～ 16:00

Close 火・木・土・日曜日（祝日・年末年始）

問い合わせ先 一戸町社会福祉協議会 TEL 0195-33-3385

Instagram

社協からのお知らせ
INFORMATION

募集

社会福祉協議会会費の納入にご協力をお願いします 8/1 ▶ 9/5

本会は、地域住民や関係機関の皆様からの会費、町からの補助金・委託料、共同募金助成金等を財源として活動しております。よりよい福祉のまちづくりに向けた事業推進のために、会費の納入についてご理解とご協力をお願いいたします。

会費の使途（一例）

- 身体機能や認知機能の低下等により公共交通機関での移動が困難な方への通院送迎
- 高齢や障がいを理由に調理が困難な方への宅配食事サービス
- 町内小中高校生に対する福祉教育
- 町内の乳幼児へのチャイルドシート無料貸出

｜納入金額｜一般世帯会費800円
特別世帯会費2,000円
｜納入方法｜各地域の行政連絡員や町内会を通じて納入をお願いします。
｜問い合わせ先｜一戸町社会福祉協議会（TEL 0195-33-3385）

イベント

令和7年度オレンジカフェさくらの会を開催中です

オレンジカフェさくらの会は、認知症のある方もそうでない方もお茶やコーヒーを飲みながら体操やレクリエーション、ミニ講話を楽しんでいただき、心の安心と安定をサポートする場所です。お気軽にご参加ください。

日程	時間	場所
8/9（土）	10:00～12:00	いちボラ＋（旧一戸幼稚園）
8/22（金）	10:00～12:00	カフェ里やま
9/13（土） 10/11（土） 11/8（土） 12/13（土） 令和8年 1/10（土） 2/14（土） 3/14（土）	いずれも 10:00～12:00	一戸町コミュニティセンター

日程	時間	場所
9/10（水）	14:00～16:00	一戸病院内LET'S GOここプロカフェ
10/25（土）	10:00～12:00	小鳥谷駅
11/13（木）	10:00～12:00	渕龍寺
12/23（火）	14:00～16:00	結カフェ
1/8（木）	10:00～12:00	翔遊館
2/25（水）	14:00～16:00	一戸病院内LET'S GOここプロカフェ

｜参加費｜どの回も100円 ｜申込｜事前申込不要 ｜問い合わせ先｜一戸町社会福祉協議会（TEL 0195-33-3385）

ご案内

チャイルドシート・車椅子を無料貸出中

旅行や帰省等一時的にチャイルドシートが必要な場合や、出生から1歳までの町内在住のお子様を対象に無料でチャイルドシートの貸与を行っています。またお出かけや突然のケガ等の際は、一時的な車椅子の貸出も無料で行っています。

夏休みの旅行やお盆の帰省の際等に、ぜひご活用ください。

｜申請者｜一戸町内にお住まいの方
｜申請方法｜申請書を問い合わせ先へご提出ください。申請書は問い合わせ先窓口またはホームページより入手できます。
｜問い合わせ先｜一戸町社会福祉協議会（TEL 0195-33-3385）

募集

「いちのへ社協だよりゆいっこ」に対する皆さんの声をお聞かせください 第1期締切 8/31

本誌を読んで皆さんのご感想やご意見を右記までお送りください。ご応募いただいた方の中から抽選で3名の方に一戸町の特産品（1,000円相当）をプレゼントします。

応募を希望される方は、**❶住所❷氏名❸年齢❹電話番号❺本誌へのご感想やご意見**を明記の上、はがきやFAXまたは右記QRコードにて編集係までお送りください。発表は、発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

｜はがき｜
〒028-5312一戸町一戸字砂森93-2
一戸町社会福祉協議会
「広報ゆいっこ編集係」
｜FAX｜ 0195-33-2737
｜メール｜
ichinohe-shakyo@themis.ocn.ne.jp